

地球のいのちの営みと調和、融合して
共に生き合うコミュニティづくりの情報を発信する



いのちの森通信



財団法人
いのちの森
文化財団



Vol. 10
2009.Apr.

平成21年4月1日発行
編集 山下 薫

発行/ 財団法人いのちの森文化財団 〒380-0888長野市大字上ヶ屋2471番地2198 TEL 026-239-0010 FAX 026-239-0011
ホームページ <http://inochinomori.or.jp> Eメール zaidan@inochinomori.or.jp

経済利益を優先するか？ 文化価値を重視するか？

東京駅前にある東京中央郵便局舎の再建がしばらく問題になっていた。日本郵政の立場からすれば、事前に開発計画の内容を公告し、所定の手続きを順次実施し、東京都都市計画審議会の認可も取得しているのに、所管大臣が見直しを命令するのは不満ということであったが、日本を代表するモダン・建築の傑作を消滅させるのは疑問だという識者の意見なども配慮し、保存部分を倍増することで結着した。

経済利益を優先するか文化価値を重視するかという問題であるが、このような事態は今回が最初というわけではない。明治政府が成立した直後の慶応四年に太政官布告神仏分離令が布告され、明治三年に詔書大教宣布が発表された結果、政府が意図したわけではないが、世間に廃仏毀釈運動が発生し、全国各地で寺院の破壊、仏像や仏画の焼却や海外流出が急増し、一例として薩摩藩内では一六〇〇以上の寺院が廃寺になったといわれる。

奈良の象徴ともいえるべき光景に興福寺五重塔の遠景がある。この創建一三〇〇年余にもなる法相宗大本山の由緒ある寺院も廃仏毀釈運動の対象となり、興福寺五重塔は二円で売却されようとしていた。現在価格で約五万円という値段であるが、それは歴史的建造物としての値段ではなく、解体して薪木にしたと

喪失したものは 再生したい

このような異常な事態は文化遺産についてだけではなく、自然遺産についても発生している。昭和四十七年夏に第六代田中角栄総理大臣が誕生した。この国民の熱狂を獲得した総理大臣の目玉政策は日本列島を一大土木事業によつて改造するという

壮大な構想であった。各地で巨大な開発計画が策定されたが、北海道内では釧路湿原を全面干拓して農業用地と工業用地にしようという構想が発表された。

現在であれば、そのような政策を総理大臣が発表した途端に退陣になるほどの内容であるが、当時、北海道経済界では多数の賛成があった。結局は湿原を干拓する費用が膨大で採算がとれないという理由と、環境保護を主張する人々が釧路湿原を日本で最初のラムサール条約登録湿地とし、国立公園に指定する努力をした結果、日本最大の湿原は維持されたのである。開発という熱病がもたらした、ほんの四〇年前の事件である。

自然環境を 復元する意味

月尾嘉男

(東京大学名誉教授)



自然環境の価値を十分に知り、大切にしたい

それぞれ文化と自然の事例を紹介したが、社会の価値意識というものは、その程度に浅薄なものだということを示唆している。しかし問題は歴史の時間からすれば一瞬とでもいえるべき時間の熱病のような価値基準によつて喪失したものは再生したいという事実である。海外へ流出したのであればまだしも、焼却された宝物は永遠に消滅し、干拓された湿原は永遠に回復しないのである。



釧路湿原は、1967年湿原そのものが国の天然記念物に指定。面積は26,861ha（東京都の面積よりも大きい）。(写真提供：釧路開発建設部)

自然環境の喪失を 金銭に換算すると…

自然環境について、そのような間違いをしないために、自然環境の価値について意味のある研究が発表されている。自然の価値を金銭に換算し、その喪失を金銭の価値で表示する方法である。アメリカの学者が中心となつて世界の様々な自然環境の価値を計算した数字がある。一例として、湿原はヘクタールあたり年間一万四七五ドルの価値をもたると算定されている。約一五〇万円である。

湿原には上流に大雨があつたとき貯水する遊水機能がある。もし湿原が干拓されて消滅すれば、その機能を代替するダムが必要になり、その建設費用を耐用年数で割算すれば一定の数字が出る。湿原には様々な生物が生息しているが、それらが滅亡した場合の損失も手法を駆使して計算する。観光に利用可能な場所であれば、それによる収入なども価値に加算する。それらを合計すればヘクタールあたり約一五〇万円という次第である。

そこで釧路湿原の面積二万ヘクタールを掛算すると、年間約三〇〇億円という結果になる。もし干拓して農地にする、農産物の価格を加算しても九二ドル、約一億円と計算されているから、釧路農地は約二億円の価値しかもたらさない。このようにして、海洋、森林、湖沼など世界の自然環境がもたらす年間の価値を計算して合計してみると、約三三兆ドル、三三〇〇兆円になる。これは世界の総国民生産額の六割に相当する。

金儲け本位という熱病からの 覚醒が早急に必要

このような背景から登場してきたのが自然再生事業である。以前に干拓して牧場にしたが、現在では利用されていない牧場もある。それを再度、湿原に復元するという事業である。財界からは税金の無駄だという意見がある。目先の金銭にしか関心のない人間の見解としては妥当であるが、自然環境が人類の生存にとつて必須の存在になつてきた現在、わずかな費用で環境を百倍以上の価値に転換できると理解すれば無駄ではない。

実際、アメリカのフロリダ半島南端のエバグレイズ国立公園の周辺にも、湿原を農地や宅地に転換した地域があるが、政府は数十年間で八〇〇億円規模の投資をする巨大復元事業を推進している。排水のために掘削した運河を以前の蛇行した河川に復元し、数万ヘクタールの湿原を回復しただけで多数の鳥類や魚類が回復してきたと報告されている。すでに時代は方向転換しはじめているのである。

廃仏毀釈運動は数年だけの熱病であった。日本列島改造も十数年間の熱病であった。しかし、文化の未熟なアメリカという国家から出発した現在の金儲け本位という熱病は世界規模の不況という破綻をもたらし、依然として



エバグレイズ国立公園は世界遺産となつている。面積は、六一〇五平方キロメートル。(写真はウィキメディア・コモンズより)

て人間の精神の根底に巣食っている。この熱病から覚醒しないかぎり、自然環境は破壊の速度を加速し、ついには人間の生存を困難にする。早急に熱病から目覚める必要がある。

つきおよしお…子時代より長距離走に能力を発揮し、小中学校では駅伝の学校代表選手となる。1980年代になつてアルペンスキーからクロスカントリースキーに転向し、毎年2月に100キロメートルクロスカントリー大会に出場。1990年代になつてカヤックを開始し、地域の有志とともに環境維持や地域振興を目指す私塾を18箇所で開催。定年とともに大学教授や政府職員を辞任し、週休4日を目指してテレビジョン放送やラジオ放送に出演しながら生活している。ホームページ「月尾嘉男の洞窟」<http://www.wtsukio.com> 参照

【コラム】エコジカル・フットプリント

人間が生活するために必要な自然を土地面積で表したものを「エコジカル・フットプリント」といいます。日本人一人あたりのエコジカル・フットプリントは四・三ヘクタールです。約三十八万平方キロメートルの日本の国土面積を二億二七〇〇万人で割ると、一人あたりでは〇・三ヘクタールにしかありません。また、魚を獲ったり炭酸ガスを吸収してくれる植物プランクトンのいる周辺の海を加えても〇・八ヘクタールしかありません。つまり、三・五ヘクタールは外国の土地を使わせてもらっている、ということなのです。自然を回復させるということは、このエコジカル・フットプリントを改善することになるのです。荒地に植林を進めれば、地球温暖化の原因となる炭酸ガスを吸収することで、エコジカル・フットプリントの改善に貢献しますし、埋め立てた土地を干潟に戻しても同様です。

たとえば浅瀬を干拓するとプランクトンや小型生物の生息する環境が減少し、小型生物が減少すると、それをエサとしている生物も減少します。東京湾がよい例です。江戸時代から埋め立てが続く干潟が大幅に減少してきましたが、その結果、東京湾で獲れる魚介類の量も種類も大きく減りました。このように考えれば、自然再生事業の重要な意味が理解できるはずです。(月尾嘉男 監修 講談社「地球共生」より)



竣工式では高野山真言宗阿闍梨宮島基行師に執り行つて頂きました。祝賀会では、大勢の方のご祝辞を頂きました。その際、異信夫先生（元信州大学医学部助教授）からはご祝辞と共にお話を頂きました。このフリースクールの重要な課題になりますので、ご紹介させていただきます。

一人一人のいのちが光輝く調和の時代を目指して…

去る平成21年3月8日にフリースクール「いのちの森の学校」竣工式を高野山真言宗阿闍梨宮島基行師に執り行つて頂きました。祝賀会では、大勢の方のご祝辞を頂きました。その際、異信夫先生（元信州大学医学部助教授）からはご祝辞と共にお話を頂きました。このフリースクールの重要な課題になりますので、ご紹介させていただきます。

「…やはりここは、特に思春期、青年期の方々に對して、最終的には学校に行かせる、そういう事ではなくて、自分力をつけていただく場、あるいは関係性を付けていただく場かなと思います。単なる適応するということだけじゃなくて…。そして、今の若い人たちは本当に自分力がない。悩むという事がない。（3ページ上部に続く）

竣工式を開催しました 皆様に感謝

去る平成21年3月8日に行われたフリースクール「いのちの森の学校」の竣工式には大勢の皆様方に式典にご参加頂きまして、改めて御礼申し上げます。また、お花やたくさんのお祝い電がありありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

「いのちの森構想」に至った経緯とは

1993年秋「人類の意識の進化」をその理念として「水輪の会」が発足し、1994年にホリスティックスペース水輪を開設、1997年水輪音を開設し、その活動を始めました。

人類が長い年月をかけて育んできた科学の進歩や経済の発展は、その一方で人間性や感性から湧き出する「いのちの輝き」を喪失し、また環境破壊へと時代を変えてしまっていました。

本来の生き生きとした人間の営為が全てがモノ的な価値観へと押し込められ、将来世代への責任性すら省みることなく地球的環境破壊も人間の意識の進化なくしてはもはや解決できないところまで追い込まれていると言つても過言ではありません。

水輪の会はこの人類の意識の進化と成長に貢献すべく様々な活動を行ってきました。2003年、今までの活動を体系化し「いのちの大学構想」としてより進化した活動へと転換をはかりました。それは人間存在の生から死まで



おなじみの「水輪・水輪音」の看板は、新しく総合案内の看板になりました

3 法人設立と連動 公共化した企業の在り方

を全包括的（ホリスティック）に捉え、全ての存在や活動が繋がりにあつていようところから、物事を捉え実践していくというものでした。

従来の非営利団体としての活動から、より公共的な活動へと脱皮をはかり、2003年12月農業生産法人としての株式会社水輪ナチュラルファームを立ち上げ、農地取得への準備を始めました。

つづいて2005年8月に宿泊研修事業の拡充はかり、多くの方々のご支援のもと有会社社グリーンオアシスを立ち上げ、2006年4月宿泊研修施設グリーンオアシスを開設、事業を推進してまいりました。

新たにスタートする 「いのちの森構想」の展開 生から死まで共に生き合う 知的創造生活空間



竣工したの森のフリースクール「いのちの森の学校」（建物名：森のしずく）

塩澤 みどり
（いのちの森文化財団 理事長）



水輪スペースで全体の儀式を行った後、森のしずく中心の地下及び、外の東西南北の5カ所でも儀式を行いました。

いのちを中心とした営み」に活動の機軸を置き、共に連動した活動として展開されています。

法人としてのそれ

ぞれの枠組みや規範はあるものの、この流れの中にある事業体は全て公共化した事業展開をその定款に明記し、これから企業のあり方も公共化へとシフトしつつある現在（人類全体への貢献）をその活動の根底に置くのはもはや自明の理とも言えると思えます。

いのちの森構想 の実現に向けて

その中で生あるものの全ての本来あるべき（いのちのいのち）から発するいのちを主人公とする科学や芸術、医療や農業、労働や福祉、教育や文化、経済や政治こそ人類が求めて止まない究極のあり方、やり方であろうと確信するものです。

「いのちの森構想」は、それらを単なる学びや理念としてではなく、更に発展させ「生活化」コミニティーの形成」として提唱し、その実現に向けて活動を推進・進化させていくものです。

より多くの方々のご支援と協力を切にお願い申し上げます。これらの4つの法人・団体として展開されている活動は、共に「生から死まで」という「人間の

いのちの森構想の 基本理念

私たち人類は21世紀を迎え、今や地球規模での大きな変動を迎えています。環境破壊、経済の破綻、食文化における偽装と汚染、心の荒廃と犯罪の増加、蝕まれた健康と感染症の脅威、家族の崩壊と地域社会の喪失など、どれひとつとつてもみても心が温かくなるような出来事がなくなつてしまつていきます。

しかし、この時代の流れを単に傍観者の的に眺めている時は既に過ぎ去りました。自分達だけの時代で満足し将来世代に対する責任性を失つて利己的に生きることから脱皮して、希望ある地球の未来に向かつて生き抜くことが私たちに残された唯一の使命であろうと思えます。

私たちはこれらの諸問題の根底に人々の意識の有り様を見据えてきました。

1993年「人類の意識の進化」をその活動の基本に据えて「水輪の会」を発足させました。その活動は「意識の大学構想」と名付けられ、信州飯綱高原を拠点として様々な文化・芸術・教育活動を進めてきました。2003年この活動をさらに進化させ「いのちあるものすべてが仲間同士であるという意識」ユニバーサルユニティ」を理念としその活動を「いのちの大学構想」と改め推進してまいりました。

2006年（財団法人いのちの森文化財団）が長野県教育委員会より認可され、水輪の会として培ってきた意識教育活動を教育文化の育成に焦点を絞つて活動を深化してまいりました。さらに、いのちの大学には、学長を帯津良一先生（ホリスティック医学協会会長、帯津三敬病院名誉院長）、副学長を異信夫先生（元信州大学医学部助教授、信州大学病院メンタルヘルス外来専任医）に就任頂き、ホリスティック（全包括的）な人々の学び場としての「いのちの大

学」を本格的にスタートさせます。

現在の3つの法人（財団法人いのちの森文化財団、農業生産法人株式会社水輪ナチュラルファーム、有限会社グリーンオアシス）と国際非営利団体 水輪の会の4つの団体はいずれもその活動理念を共にし（いのちの時代）を生き抜く人類の指針を明らかにしていくことを活動の理念として日々精進しています。

20余年にわたる活動は意識の大学構想↓いのちの大学構想↓いのちの森構想と進化し本年（平成21年）から再スタートします。

いのちの森構想 活動の4つの柱

いのちの森構想の活動は大きく4つのコンセプトに分けられます。

1 地球と調和した循環型生産活動
【循環型生産活動の転換／農林漁業の再生プランの提言と実践／食文化の育成／地球環境の保全】

現在、水輪ナチュラルファーム自然農園をフィールドにした活動が、主にこのコンセプトに取り組んでいます。

2 良心から生まれる共に生きあう教育活動
【人類の意識の進化と成長／公共心の育成／コミニティー意識の形成】

いのちの大学講座（いのちの森文化財団 社会教育事業）において、心理・健康・教育の分野での合宿講座を開催致しております。

また、この4月からは、「森のフリースクール いのちの森の学校」において、大地から生まれる様々な（いのち）をとおりて青少年の意識教育（共育）を担います。



異先生からも「祝辞」と講話を頂きました



「いのちの森の学校」(森のしずく) 多目的ホール

活動のフィールドとして人間力、生活力、徳力、仕事力など21世紀を担う青年達の成長と学びを支援します。

3 心を豊かにする公共芸術文化の創造
【真・善・美の意識の育成／主観芸術から普遍芸術へ／芸術文化の公共化】

いのちの大学講座（いのちの森文化財団 文化事業）において、ワークショップの開催や種々の手作り教室などを開催しております。

4 生命場のエネルギーを高める健康活動
【癒しと気づき、そしていのちの躍動／ホリスティックな医療・健康活動の普及／死生観の深化】

これにつぎましては、2015年をめどに（虚空への旅立ちの家）（仮称）の開設を計画しております。生きる最後の瞬間までいきいきと生き抜いて、ときめきの虚空への旅立ち、さらにときめきの大爆発をもつて旅立つという、そんな（死）をイメージした（旅立ちの家）構想です。チューブ漬の医療から解放されたホスピスのあり方こそ私たち誰もが求めているものではないでしょうか。

これから5年間はこの内実を作り上げていく大きな役割を担う年月となります。

この（いのちの森構想）は人間の生から死までを統合し、人生をよりよくいきいきと生きるための意識の有り様をより具現化し、生活に根付いた活動として実践していくものです。

竣工式祝賀会には多くの方に加
加頂きました。衆議院議員篠原孝
氏からも「祝辞を頂きました。



心と体といのちがかがやく教育を…

(2ページ上部の続き) 本来本人が悩むべきものを実は周囲が悩まされているというのが実際です。いかに、本人に悩みを返していくかが重要な点だと思います。少々厳しくなることもあるかもしれませんが、悩む力をどう付けていくか、それが一つの大きな課題だと思います。

それにはやはり、スタッフや自分たちとの共同生活の中から、しかも事実に基づいて、自分の悩みは自分の悩みとして受けとめていくというように、返してもらい、本当の本人の生命力をつけていただく、というのが、この存在理由かなと思います。やはり今、時代が求めている一つのモデルの場だというように私どもに映ります。」

今回、そして次回のコラムでは心の病でよく注目される遺伝と環境、そして脳について、お送りしたいと思います。繰り返し書いていこうと思いますが、脳の働きと心の動きというのはとても繊細なトピックですので、少し回りくどいとは思いますが、今回はまず、脳と心について概略的なことをお話ししていこうと思います。

人間の心の複雑さ

私が専門的に学んでいるのは、バイオサイコロジという分野です。一言に「心理学」といっても細かく専門分野に分けられています。例えば、学校教育に関係するのは、教育心理学、青年心理学、そして発達心理学。カウセリングに関係するのは、臨床心理学。この臨床心理学にも、各年齢層に対応して更に細分化されています。ざっと挙げるだけでもこれだけの「〇〇心理学」が出てくる事実には、私たちの心の複雑さとその奥深さの一部が表れているように思えます。学部や名称からでも見てとれる人間の心の複雑さは、私の専門分野においても垣間見ることが出来ます。

私の専門であるバイオサイコロジは、日本語で言うところの生物学的心理学です。脳と脳内物質がどのように心、心理状態に働きかけるのかという分野です。この分野もまた、細かく枝分かれしています。例えば、私は動物の行動実験を行いながら、性ホルモンが鬱や学習に影響を与えるかというようなことを調べます。同じ専門学部ですが、別の研究室にいる友人は、

「脳と心」シリーズ連載第3回

遺伝と環境

～心と脳とその他のいろいろ～

角田佳菜子

(ニューヨーク州立大学
バイオニューロサイコロジー専攻)



脳は器官単体ではうまく機能しない

生まれたての状態の脳はまっさらです。これを専門用語では、ブ

感や心の動きのようなものが生み出されていきます。そして、この複雑な脳の働きに、遺伝などの要素も絡んできます。この点を少し掘り下げて考えてみましょう。

話をする人間の赤ちゃんの話を戻します。日が経つにつれ、赤ちゃんは段々と言葉らしきものを発し、表情が豊かになってきます。例えば、昨年、私の妹が産まれたのですが、その妹がメールで送ってくる甥の写真をみると、3日前、1週間前、1ヶ月前の写真、その違いがはっきりと見てとれます。驚くべきは、体の大きさの違いだけでなく、写真に写るその「表情」です。写真をみて「あ、うれしんだな」「気持ちいいんだな」「あら、不機嫌そう顔だ」とはつきり

ランクスレートといえます。白紙の状態という意味です。生まれたての赤ちゃんは、生命を維持するための活動のみを持って生まれてきます。例えば、お母さんのおっぱいを吸う力。乳首を差し出せば力いっぱい吸い、ぐいぐいとミルクを飲む。そして、お腹が空いたら泣き、おしめが濡れば泣いて不快感をお母さんに知らせます。ミルクを飲んでお腹がいっぱいになれば、ふにやふにやと口を動かしかくびをして、眠ります。赤ちゃんはこれらの動きをどこで、どうやって学んできたのでしょうか？

答えは、学んだ、のではなく生まれてから、生き延びていくために備わっている「生まれつきの能力」です。これらの動きは、周りの動きや環境の変化に応じて脳が出すサインによって操作されています。平たく言えば、脳にプログラムされた動き、と言えるでしょう。人間に限らず、すべての動物はこのように「生きていくための能力」を持って生まれてきます。多くの動物は生まれてすぐ立ち上がり、生命活動を始めます。すべての動物は最低限の生きる能力と機能を持って生まれてくるのです。



母乳を飲むのは、生まれ持った「生きていくための能力」

受精したその瞬間から脳の成長は始まる



胎児も脳を成長させている

もちろん、赤ちゃんがそんな感情を知っていく中で、脳は猛烈な成長をしています。お母さんのお腹の中で、受精したその瞬間から、脳の間から、脳の成長は始まり、一定の年齢に達するまで成長し続け、その構造がどんどん複雑になっていきます。その成長速度は数秒、数分の間隔で起こります。脳には緻密な刻み込まれることにより、許容する分の物質が増え、単純な感情表現から、徐々に複雑な行動ができるようになります。例えば、しゃべったり、絵や文字を書いたり、といったようなことを学んでいく過程で、人は生命維持以外のための感情を学んでいきます。例えば、不安。お母さんの姿が見えないと赤ちゃんは泣き声をあげてお母さんの姿を探します。誰が教えたわけでもないのに、赤ちゃんはこれらのことを自然に感情として表します。成長していくにつれ、親以外の存在に触れていくにつれ、表現される感情はますます複雑化していきます。そしてその成長の中に、個体としての他者との「違い」が生まれてきま

性格や心の病気の原因は遺伝か、環境か

人間の性格の違いや、心の病気について、それはそれは長い間「遺伝(持って生まれた性質)」か「環境(後になって学習して体得していったものか)」という議論がされてきました。それはもちろん、今も変わらず議論され続けています。なぜなら、今のところ私たちにいつ、どの瞬間に、「こころの動き」を感じ、学び、そして「違い」を感じるのかはつきりと特定できないでいるからです。先の赤ちゃんの話で書きましたが、ミルクを飲んで眠る、これは持つて生まれてきた能力。そして、お母さんのおっぱい、声が聞こえないと泣き出すといったようなこと、これは、生れ落ちた環境の中にいて体得していったもの、ということになります。

話を最初に書いた私と学友の研究分野について戻しましょう。妊娠中やその後の過程で起こる事象が脳に及ぼす影響とその発達を見ていくのが、特殊な分析法で脳の一部を解析する友人の研究です。もともと生まれ持つてきた能力がどこから来て、どのように進化してきたのか、それを解明しようとしているのが、進化論にそった研究をしている友人です。そして、どのような物質が、脳のどの部分に働きかけ、どういった反応・行動を導きだすのかというのが私の研究です。端からみたらバラバラに見えるそれぞれの研究も、こうして考えてみると繋がってくるのです。今回は、この「つながり」を心の問題と絡めてお送りしようと思います。



多くの動物は、生まれながらに生命活動を始める



ニコチンは、赤ちゃんの脳に影響を与えています

すみだかなこ…武蔵野女子大学、人間関係学科卒業後、渡米。ニューヨーク州立大学 Albany 校にて心理学部を卒業した後、現在、同校、心理学部(バイオニューロサイコロジー)博士号過程に在籍中。専門は、性ホルモンと鬱、学習と記憶、性ホルモン、認知能力、老化について。

国連難民高等弁務官事務所
(UNHCR) で働いて

世界の経済と環境が大きな転換期を迎え、大変な時代の幕開けが来たことを痛感している。今年の初めは、99歳になった祖母、脳梗塞と心臓手術、溺水から回復した両親、弟家族全員とで新年を迎えられたことの喜びをかみしめた。

最後の任地であったアフリカのモザンビークから日本に帰り、約2年半になる。

連載
「難民支援の現場
からの提言」第1回

千田悦子
(国連難民高等弁務官事務所)



左手前が千田悦子さん（ザンビアでのアンゴラ難民の帰還担当官時）

困難な状況に面している人々の国際的な人権保護及び人道支援を行うことである。

我々は日本を
どうしたいのか？

私はこの仕事を通じて世界中の色々な身分や立場の方達と接し、神様は不公平だという結論に至った。人間の尊厳と命の重さは平等な筈だが、与えられる環境、状況、困難さ、

課題は本当に不平等なのである。そして、環境がどんなに困難な中でも命をきらきら輝かせて生きている人もいれば、日本の恵まれた環境の中で、苦しみ、自殺を図る方もいる。

というわけで帰国の度に日本の変化を肌で感じ、目を覆いたくなるような光景も目にした。例えば、若者に占領された電車の優先席。年配の方が自分の前に立っていても、誰も席を譲らない。お婆さんやお母さんが、自分の孫や子供を席に座らせて自分は立っている。昔は子供が座つたら怒られたのに。そういう若者たちに席を譲るように声をかけると、危ないから止めろといわれた。注意をして暴力を振られ、命を落とした方も少なくないから、という。これが、「春は曙。」と美しい自然を愛で、慈しみの恵みと共に暮らし、その恵みと美しさに常に感謝する心を持ち、目の上の人を尊敬していたわり、いたるところにお寺や神社を建てた感受性豊かで相手の気を汲み取る、思いやり溢れる日本人の夢描いた未来なのだろうか？

地球を救う！
日本人一人一人
の生き方改善

今回二十数年ぶりに日本で2年以上暮らし、自分の生活を鑑みる時、私の生活空間はコンクリートで覆われ、何をするにしても余計なごみを出し、たくさん不自由で溢れている。暑い夏に冷房の電車で寒さに震え、寒い冬に汗だくで通勤し、捨てられていくまだ使えるものの多さに心が痛む。お昼ご飯にもお弁当を買うつと、プラスチックのケース、無数の小さなプラスチックの容器や包み紙、ペットボトルや缶容器と大量のごみが出る。これが燃やされ、ダイオキシンを空中にばら撒く。その空気が、日本か

ら世界中に広がっていく。食糧自給率が40%以下で食べ物の殆どを輸入に頼る日本一国の年間残飯量が、全世界の年間食糧援助の量(約1千万トン)より多いことが殆どだという。

日本人を始め世界約12億の人々が、残りの世界54億人の人々の数倍、何十倍もの資源を使つて生活している。アフリカの国々や、ネパールで、子供達がペットボトルを様々な用途に使つていたことを思い出す。井戸の水受け、じょうごの代用。私達日本人が自分の生き方を変えることで、世界に大きな影響を与えられる。日本人が資源を大量消費しているということは、我々の世界を良くし、貢献する力は非常に大きいということなのだ！私達がこれから未来に向かって、どのようなライフスタイルを選択するのかが、

今ここでこの瞬間から、まず自分が生き様を変えていく決意をする。まず自分が変わる！

私は自分の使命が、自分と自分の周りの人達が本来持つている命の力を最大限に発揮できる、自分本来の命のパワーをきらきら輝かせつつ楽しく幸せに生きる、生かしあひの社会を創つていくことだと思つている。これから数回の私の文章で、生活の中に新しい視点を提供できればと思つた。

ちだえつこ…京都生まれ。1985年津田塾大学文学部国際関係学科卒業後、日本国際ボランティアセンター(JVC)よりソマリヤでボランティア。その後、ヒューマンライク総合学園職員・講師を経て、青年海外協力隊で西サモアに派遣(JICA事務所・秘書隊員)。ポストン大学医学部大学院公共衛生学修士号及びハワイ大学ソーシャルワーク修士号を取得。ハワイ州政府社会福祉課児童保護局で(虐待児童及びその家族の)ケースワーカー勤務後、1996年よりUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)にて、ジュネーブ本部、ケニア、アフガニスタン、ジブチ、ザンビア、モザンビーク等で主にフィリド・オフィサーとして勤務。現在UNHCR駐日事務所の広報アドバイザーとして2007よりより東京にて勤務中。
著書…「アフガニスタン折りの大地」清流出版社2002年／共著…「国際緊急人道支援」(内海成治・中村安秀・勝間靖編)ナカニシヤ出版2008年／「現地と世界をつなぐ私達の仕事」(加納弘勝編)津田塾大学オーブンリーサーチセンター2008年／その他…地球を救う仕事(4巻)

2009年 いのちの森文化財団主催事業 いのちの大学講座 (学長 帯津良一 副学長 巽信夫) ～一人一人の生き方を見直そう～

社会教育事業

養生塾 講師 帯津良一 先生 (帯津三敬病院名誉院長) 2009年 5月29日(金)～6月1日(月) 7月31日(金)～8月3日(月) 10月2日(金)～5(月) 11月27日(金)～30日(月)	免疫力・自然治癒力を高め、病を克服し、明るく希望を持って生きるための実践講座です。手術、サプリメント、代替療法、心の持ち方、その他どんな悩みにも帯津先生が直接お答えする車座交流Q&Aの時間がたっぷりあります。 	いのち学 講師 帯津良一 先生 (帯津三敬病院名誉院長) 2009年 5月29日(金)～31日(日) 7月31日(金)～8月2日(日) 10月2日(金)～4(日) 11月27日(金)～29日(日)	医療従事者のための講座です。志高く、人を患者を尊重する医師の言葉の在り方、帯津先生の存在そのものの在り方を学びます。医師の心の在り方、プライドの高さなど医師の特権意識からの脱却と、患者が治る医師の在り方なども学びます。講義の他、先生と患者さんとのコミュニケーション現場を体験する臨床体験もあります。	【参加者の感想文より】▼車座交流会では、患者様が希望と安心を持って医療を受けるといことがどういう事なのか、帯津先生の温かな対応に包み込まれるように、次第になごやかにほぐれていく患者様たちの表情を拝見して、多くの示唆と気づきをいただきました。(A.W) ▼帯津先生の講座の時にお世話になっ た息子が無事大学に合格して、帯津先生の後輩になります。主人が逝ったことで最終的にそちらの方にしたようです。今までは勉強だけの生活でしたが、帯津先生のようなすばらしい人との出会いを多くして視野の広い人になっていって欲しいと思っています。よき機会をありがとうございました。(T.T)	集中内観セミナー 講師 塩沢研一 (日本内観学会会員) 【随時開催】	実践カウンセリング (対話の仕方) 講座 講師 巽 信夫 先生 (精神科医) 2009年 6月12日(金)～14日(日) 8月21日(金)～23日(日) 10月23日(金)～25日(日)	生活と仕事を通して学ぶ。心の持ち方、人との関わり、志。また中間管理職や教員、人を導く立場の方に必要な資質・能力を身につけます。リーダーシップを発揮するために人格を磨き、人を引きつけ導く力をつけていきます。 	森林セラピーと心と体の免疫療法 講師 巽 信夫 先生 (精神科医) ファシリテーター 塩沢みどり (心理教育カウンセラー) 2009年 9月4日(金)～6日(日)	NHK「こころの時代」「家族の肖像」などの音楽でおなじみの瞑想のピアニスト、ウォンウィンツァンさんのセミナーです。「その時々自分に向き合いながら、『表現』というものを通して、新しい自分に気づいていく、そんなプロセスを皆さんと共有していければ、と思っています。ウォンウィンツァン」 	● 森林セラピー：森の香りに包まれて眠ると疲労回復が早いと科学的統計が出ています。また、風の音、鳥の声など様々な森林環境が人の自律神経に刺激を与えるため、森林浴は心身を癒す効果があると報告されています。 ● 心の免疫療法：信州大学メンタルヘルス外来専任医巽信夫先生による心の免疫療法のお話。Q&Aはどんな質問もOK。 	ウォンウィンツァン ピアノコンサート 2009年10月11日(日) 開場 18:30／開演19:00
	リーダーシップセミナー 講師 塩沢みどり (いのちの森文化財団理事長) 【随時開催】		ウォンウィンツァン ワークショップ インストラクション ウォンウィンツァン (ピアニスト) ウォン美枝子 (ダンサー) 2009年 10月10日(土)～12日(月)祝		こけ玉グリーンアートセラピー 【随時開催】 シーズンチャレンジボランティア 【随時開催】 いのちの森の学校 2009年4月～ 随時受入		こけ玉は私たちの心の風景を映し出し、元気を与えてくれます。出来たこけ玉は手入れをすれば何年でも生き続けます。指を使い土を練り、こけ玉をつくるプロセスを通し忘れていた大切なものに会っていきます。 つながりあおう人と自然と大地といのち。ボランティア保険にも加入しています。 		Webカウンセリング 【随時開催】 財団では、Webカウンセリング事業（無料）を行っております。		
※詳細はお問い合わせ下さい いのちの森文化財団事務局 TEL 026-239-0010											